

次回に繋がる成果確認

西日本展示会反省会開く

大阪医療品卸商組合は、9月26日、大阪市北区のラマダホテル大阪で西日本医療品総合展示会の反省会を開催し、組合役員、展示会実行委員などが出席した。同展示会は、入場者が前年より少なかったものの売上は目標の30億円に近く前年実績を超え、特別展示企画が好評だったことも併せ、次回の展示会に繋がる成果と評価された。

9月7・8日に開催された2011年西日本医療品

総合展示会は、入場者1458人、売上29億7000万円の実績で、無事閉幕した。入場者については前年より減少したが、売上は昨年を超える実績となり特別展示企画も好評だった。

会の冒頭、大西健路組合

長は、1年がかりで準備を進めてきた実行委員の尽力



反省会後は慰労の会となった

に感謝の言葉を述べるとともに、「おかげさまで、無

事終了することができた。入場者は当初の目標に達しなかったものの、売上は前年を超え目標に近いものとなった。本日の反省会では皆様から声をいただき、来年に繋がるものとして行きたい」と話した。

また石本純一実行委員長は、「今年の2月から実行委員会をスタートさせ、回を重ね準備を進めてきた。実行委員のメーカー様には大変なお力添えをたまわり、何とか成功裡に終了することができたと考えている」として、売上額、入場者数、催事やミニセミナーの参加者数などについて詳細に報告した。「いずれにしても、売上は予算達成に近く、組合の基幹事業として来年も展示会を継続して実施していきたい。来年

の参加者数などについて詳細に報告した。「いずれにしても、売上は予算達成に近く、組合の基幹事業として来年も展示会を継続して実施していきたい。来年

は、9月5日・6日にO.Mビルのお場を予約し、また本日の役員会で実施の承認をいただいた」と報告した。続いて印刷、景品・催事、特別展示企画など展示会運営の各担当責任者が、運営の詳細報告と反省点などについて述べた。また、事前に卸、メーカーの各実行委員にアンケートを実施し、この集計も配布された。特別展示企画では、五感体験コーナーは入場者から好評だったとの声が多く、協賛メーカーからも実際に体験してもらうことで商談がしやすくなったなど好評で、待ち時間の対応などが反省点として上がったが、良い企画だったとされた。初の試みとなったミニセミナーも専門的な内容で良かったとの声が多く、会場に足を運ぶきっかけとなるなど展示会の魅力を高める企画として高く評価された。入場者だけでなく聴講した卸のセールス社員にとっても営業力アップにつながるなどの声もあった。反省会終了後は、慰労の懇親会となり、辻正照賛助員会会長が、展示会の成功に感謝の言葉を述べ、「来年の展示会に向けて頑張りたい。メーカーとしては、お客様が求める新製品をつくるのが何より重要と考える」とあいさつし、乾杯の発声をした。



石本実行委員長



大西組合長

日本医療衛生新聞

発行所
 株式会社 日本医療衛生新聞社
 大阪府中央区高麗橋1丁目5番11号
 発行人 三栖 昇
 編集人 松川 俊明
 電話 06(6202)5588番
 FAX 06(6202)5628番
 取引銀行 三愛東京UFJ銀行都島支店

PIGEON

ピジョン株式会社
 東京都中央区日本橋久松町4番4号
 TEL (03) 3661-4200 (代答)
 ●札幌店・仙台店・大宮店・
 東京支店・名古屋支店・
 大阪支店・広島店・福岡店